

2026.6.4

学校法人 早稲田大学  
理 事 会 御 中

学校法人 早稲田大学

監事（常勤） 小 林 麻 理

監事 辻 山 栄 子

監事 園 マ リ

監事 柳 田 直 樹

## 2025年度監事監査報告書

私立学校法第52条第1号および学校法人早稲田大学校規（寄附行為）（以下「校規」という。）第35条の規定に基づき、2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における学校法人早稲田大学（以下「本学」という。）の業務および財産の状況ならびに理事の職務の執行の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

### (1)監査方法およびその内容

- ①理事会、評議員会、その他重要な会議に出席し、理事および教職員等から報告を受け、必要に応じて意見を述べました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、本学本部事務機構ならびに本学が設置する主要な学校の業務および財産の状況を調査しました。
- ②事業報告書に記載されている理事の職務の執行が法令および寄附行為に適合することを確保するための体制、その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして私立学校法施行規則第13条各号に定める体制の整備に関する理事会決議の内容および当該決議に基づき整備されている体制（内部統制体制）について、理事および教職員等からその構築および運用状況について報告を受け、必要に応じて意見を述べました。
- ③本学の経営方針、事業計画を把握し、総長との面談を行いました。また、必要に応じ学術院等を視察し、箇所長等関係者から現状と課題等について説明を受け、意見交換を行うとともに、2024年度監事監査結果についてフォローアップを行いました。
- ④計算関係書類および会計監査報告については、会計監査人（ふじみ監査法人）から、「職務の遂行が適正に行われていることを確保するための体制」（私立学校法施行規則第37条）を整備している旨の通知を受け、その職務の執行状況について報告を受けました。
- ⑤本学の子法人から事業の報告を受け、業務および財産状況の調査を行いました。
- ⑥監査室からは内部監査について報告を受け、必要に応じて意見を述べました。

## (2)監査結果

- ①事業報告書およびその附属明細書は、法令および校規に従い本学の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の遂行に関し、不正の行為または法令もしくは校規に違反する重大な事実はないものと認めます。
- ③内部統制体制に関する理事会決議の内容は相当であり、内部統制体制に関する事業報告書の記載内容および理事の職務の執行について指摘すべき事項はありません。
- ④会計監査人（ふじみ監査法人）の監査の方法および結果は相当であることを認めます。

## (3)監事所見

- ①「世界で輝くWASEDA」の実現に向けた「Waseda Vision 150 And Beyond」の進捗・達成状況について、社会変革をもたらす価値を創造するGlobal Research Center(GRC)、社会変革を担う人材を育成するGlobal Education Center(GEC)、人・社会・地球の未来を牽引するGlobal Citizenship Center(GCC)の取り組み、運営体制構築等の状況を確認しました。今後も、3つのグローバルセンターを中心に「総合知による人類への貢献」を強力に推進するとともに、研究教育活動を通じて、進んで世界人類に貢献し続ける大学であることを望みます。
- ②リスク管理・コンプライアンス推進をはじめとする内部統制システムの整備およびガバナンス体制の強化への取り組み状況等について、研究・教育環境の複雑化、外部環境の不確実性の増大に伴い、さまざまなリスクが存在していることを確認しました。これらのリスクに取り組むためには、統制環境に対するモニタリングと組織横断的な情報伝達が不可欠です。このことに留意し、さらなる大学運営の透明性と適正性の確保、ガバナンス体制の一層の強化に取り組まれることを望みます。
- ③研究教育活動の質向上に向けた大学本部事務機構および大学院等の現状や課題等に対する多様な取り組み状況を確認しました。その過程において、研究教育環境に重大かつ緊急に対処すべき課題があることを認識し、意見を述べました。当該課題については、理事会主導のもと、解決のための制度的措置等が迅速に行われ、改善に向けた取り組みが行われていることを確認しています。今後も状況を注視して、研究教育環境についてさらなる改善を目指し、多様な主体が協働し新たな価値の創出を目指すことを期待します。
- ④財務体質の強化に向けた取り組みとして、Waseda Endowmentの運用状況について確認しました。さらに、多様な収入源による財政基盤のさらなる強化と資金運用で得た果実の戦略的な研究教育活動への投資に努められることを期待します。

以上